吉岡町立学校児童生徒保護者様

吉岡町教育委員会

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度への加入について

吉岡町では町立小中学校に在学する児童生徒の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、「JSC」といいます。）と災害共済給付契約を結んでいます。

JSCの災害共済給付は、学校の管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者の皆様に対して行う制度です。JSC側では“制度への加入は保護者の任意”としていますが、**吉岡町では、掛け金（児童生徒一人あたり年額935円）の全額を町が負担することで、全ての児童生徒が加入することとしています。**

給付の内容等は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法又はこれに基づく政令、省令、通達等に定められています。令和3年4月1日現在、その主な内容は以下のとおりです。本制度の内容と制度への加入についてのご理解をお願いいたします。

1 給付の対象となる災害の範囲と給付金額

災害の種類	災害の範囲	給付金額
負傷	その原因である事由が学校の管理下で生じたもので、療養に要する費用の額が5,000円以上（本来窓口で支払うべき自己負担額が1,500円以上）	医療費 ・医療保険並の療養に要する費用の額の4/10（そのうち1/10は、療養に伴って要する費用として加算される分） ^(※) ただし、高額療養費の対象となる場合は、自己負担額（所得区分により限度額が異なる。）に療養に要する費用の額の1/10を加算した額 ・入院時食事療養費の標準負担額がある場合は、その額を加算した額
疾病	その原因である事由が学校の管理下で生じたもので、療養に要する費用の額が5,000円以上のものうち、文部科学省令で定めるもの （ ・学校給食等による食中毒 ・ガス等による中毒 ・熱中症 ・溺水 ・異物の嚥下又は迷入による疾病 ・漆等による皮膚炎 ・外部衝撃等による疾病 ・負傷による疾病 ）	
障害	学校の管理下の負傷又は上欄の疾病が治った後に残った障害（その程度により第1級から第14級に区分される。）	障害見舞金 4,000万円～88万円 〔通学中の災害の場合2,000万円～44万円〕
死亡	学校の管理下において発生した事件に起因する死亡及び上欄の疾病に直接起因する死亡	死亡見舞金 3,000万円 〔通学中の場合1,500万円〕
	突然死 学校管理下において運動などの行為に起因する突然死 学校管理下において運動などの行為と関連のない突然死	死亡見舞金 3,000万円 〔通学中の場合1,500万円〕 死亡見舞金 1,500万円〔通学中の場合も同額〕

なお、学校の管理下とは、次の場合をいいます。

- ① 学校が編成した教育課程に基づく授業を受けている場合
- ② 学校の教育計画に基づく課外指導を受けている場合
- ③ 休憩時間中、その他校長の指示・承認に基づき学校にある場合
- ④ 通常の経路及び方法により通学する場合

2 給付に関する注意事項

- ① 同一の災害の負傷又は疾病についての医療費の支給は、初診から最長10年間行われます。他市町村の学校へ転校した場合や卒業、進学した場合にも、継続して請求することができます。
- ② 災害共済給付を受ける権利は、その給付事由が生じた日から2年間手続きを行わないと、時効によって消滅します。
- ③ 災害共済給付の給付事由と同一の事由について、損害賠償を受けたときは、その価額の限度において、給付を行わない場合があります。また、自由診療は対象外です。
- ④ 手続き書類・負傷等災害により給付対象になった場合は、学校がお渡しする「医療等の状況」用紙と「口座振替申請書」を学校へ提出してください。「医療等の状況」は医療機関で記入してもらい、「口座振替申請書」は保護者が記入してください。なお、「医療等の状況」は1カ月ごとに1枚必要です。お手数ですが、月をまたぐ場合は、担任に申し出てください。
- ⑤ 保護者への医療費給付金・JSCからは「医療機関窓口での支払い分」+「お見舞い金（療養に伴って要する費用）」として、総医療費の4/10が支給されること^(上記※参照)になっていますが、吉岡町では、小中学生の医療費の3/10にあたる「医療機関窓口支払い分」は町が助成（負担）しているため保護者の自己負担は生じません。したがって3/10にあたる給付金は町が受け取ります。保護者には「お見舞い金」にあたる総医療費の1/10のみが、手続き後2～3カ月後に指定口座に振り込まれます。

3 共済掛金

一人あたり年額935円。ただし全額を町が負担するため保護者負担額は0円です。